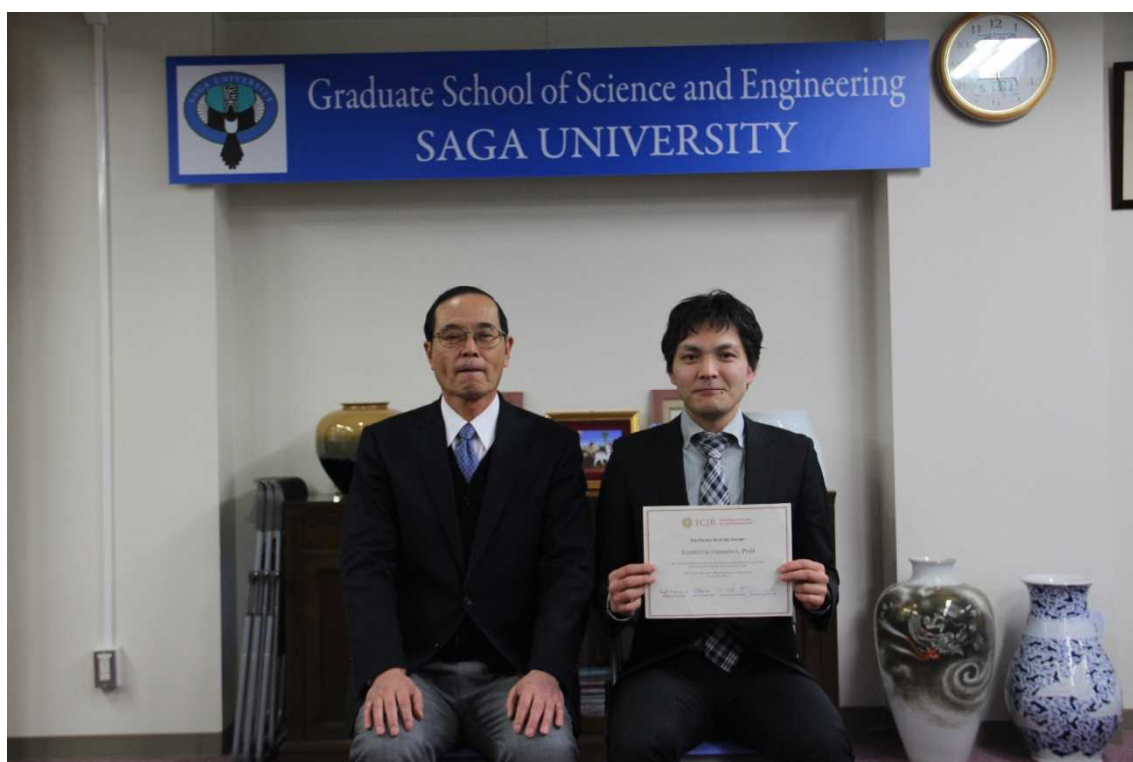


中山研究室の大嶋利之さんが国際会議で優秀賞を受賞しました

大嶋利之さん（非常勤博士研究員）が、平成 26 年 7 月 16 日～19 日にかけてハワイで開催された国際会議年會 2014 Pan Pacific Orthopedic Congress での研究講演で Pan Pacific Blue Sky Award を受賞されました。本会議年會では、発表者総数約 800 人の中から 12 名に優秀賞が授与されました。大嶋利之さんは先端融合工学専攻の中山功一教授の下で、非常勤博士研究員として再生医療の研究に従事されています。研究成果が高い評価を受けたことは誠に喜ばしいことで、今後の一層の進展を願うものです。

2014 Pan Pacific Orthopedic Congress は関節疾患の病態、手術方法、解析装置開発などの関節に関する研究者が集まる国際的な年會です。受賞演題名は、“In vitro fabrication of scaffold-free meniscus-like construct using bio-3D printer”（バイオ 3D プリンタを用いたスキャフオールドフリーな半月板様の細胞構造体の作製方法の開発）です。膝関節の組織は自己再生力が乏しく、既存の治療法では完全に治すことができない組織部分です。中山研究室で開発しているバイオ 3D プリンタは細胞のみを材料（人工的なスキャフオールド（足場材）を用いない）に立体的な構造物を作製できる特徴があります。本講演では、バイオ 3D プリンタを用いて、軟骨細胞のみを材料に膝にある半月板の形を作製することを示しました。今後、開発を進めることで、膝関節の新規の治療法になることが期待されます。



左より石橋研究科長、大嶋利之さん